

私の映画KAN—映画と本のコラボ—

7月例会『風をつかまえた少年』の映画を見た後、図書館へ行った時、(ひょっとして原作本あるかな?)と思い、検索してみました。なんと、ヒットしました。作者は、ウィリアム・カムクワンバ。映画の主人公です。カムクワンバが作った風車が新聞記事になり、それを通じて世界中に知られることになりました。そして、「TEDグローバル」(グローバルな問題をテーマに年1回開催される国際講演会)に招待され、世界から注目されます。そして、この経験を本人が語り、ジャーナリストが1冊の本にまとめて「風をつかまえた少年」が出版され、23カ国語に翻訳されてベストセラーとなりました。そして、映画化もされたのです。

映画の初めに登場した葬送歌と踊り手(グレワムクルというらしい)「何?」と引き付けるものがありました。魔術が生活の土台になっていたことを物語っていたということ、本を読んでわかりました。舞台となったアフリカのマラウイは、当時人口の2%しか電気を使うことができず、世界で最も貧しい国のひとつでした。本は380ページありますが、その半分は、マラウイの貧しい生活の様子や干ばつ、食糧難の話でした。魔術で雨を降らせたり、病気を魔術で治せるとされていました。そんな村なのに、携帯電話を持っている人もいます。映画ではわからなかったけれども、貧富の格差がありありとわかります。のちに、カムクワンバが子どもたちに理科を教える機会があった時に、こう言っています。「発明したり、創造したりできる科学の世界では、新しいものをつくることで、自分たちの暮らしをよりよくすることができる。僕たちみんなが何かをつくって動かせば、マラウイをかえることもできる」

小さなことですが、新型コロナでマスクがなくなったとき、「じゃあ作ればいい」と、たくさんの人が作りました。必要があると人は動ける証拠です。

解説の池上彰さんは、「学ぶということがこれほどまでに人生を豊かにしてくれるとは。大人たちが見向きもしない素朴な疑問に取りつかれた少年は、疑問を独力で解くことにしました。『何かを実現したいと思ったら、まずはトライしてみることだ』これが少年の信念です。」と述べています。映画と本がコラボすることによって、より深く映画の主張したかったことがわかったような気がします。これからもぜひ原作本を読んでみたいと思いました。(有)

前回の例会報告

7月21日(水)の7月例会では、アフリカ・マラウイを舞台にした『風をつかまえた少年』を鑑賞しました。

アフリカの最貧国のひとつマラウイで大干ばつの中、貧困で学校に行くこともできなくなった少年が、図書館で出会った本から、独学で風力発電で乾いた畑に水を引くまでのヒューマンドラマを鑑賞しました。

参加会員 89名、明石シネマクラブから8名参加。

明石シネマクラブ例会情報

■名称/第66回例会『ニューヨーク 親切的なロシア料理店 ~新しい人生、メニューにあります。~』

■監督/ロネ・シェルフィグ

■出演者/ゾーイ・カザン、アンドレア・ライズボロー、タハール・ラヒム、ケイレブ・ランドリー・ジョーンズ

■ジャンル/青春ドラマ 2019年 デンマーク他 115分

■解説/ニューヨーク

の傾きかけた老舗のロシア料理店を舞台に、夫の暴力から逃れるため2人の息子とともに着の身着のままでやって来た母親が、それぞれに事情を抱えた訳ありな人々と出会い、彼らの優しさに支えられて新しい人生へと踏み出していく姿を描く。

■日時/10月15日(金)①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所/アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅徒歩5分)

■目的・内容/加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付/会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

※ファクシミリの番号が変わっています。

会員数 134人(7月21日現在)

